

科目名		在宅看護援助論Ⅲ (終末期の看護)			
科目分類	統合分野	履修年次	3年次	履修時期	4月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	15時間	試験時間	なし
担当教員	専任教員	実務経験	在宅看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	終末期にある在宅療養者とその家族へのQOLの維持・向上を目指したケアを学び、看取りの看護を理解する。				
回	授業内容			授業方法	
1	1. 在宅終末期看護の特徴・役割 2. 在宅終末期看護の展開 1) 在宅移行時 2) 終末期前期 3) 終末期中期 4) 終末期後期 5) 在宅での看取り 6) グリーフケア 3. グループワーク説明… 事例検討グループワーク			講義	
2	事例検討のグループワーク			グループ討議	
3	事例検討のグループワーク			グループ討議	
4	事例検討のグループワーク			グループ討議	
5	事例検討結果の発表・質疑応答 事例検討の講評・考えるポイント			講義	
6・7	事例検討結果の発表・質疑応答 事例検討の講評・考えるポイント			講義	
7	在宅ターミナルケアの実際			講義	
使用教材	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院				
参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア メディカ出版 2. 在宅看護論 実践をことばに第6版 ニューヴェルヒロカワ 3. 知識が身につく! 実践できる! よくわかる在宅看護 学研 4. 関連図で理解する 在宅看護過程 メヂカルフレンド社 5. 在宅ターミナルケアのすすめ 日本看護協会出版会 6. 訪問看護のための事例と解説から学ぶ在宅終末期ケア 中央法規出版 7. 演習・実習 在宅看護論 医歯薬出版				
成績評価の方法	事例検討グループワーク60%(個人レポート(★)10点、グループでの提出物の内容(★)・締め切りの遵守24点、グループの発表・質疑応答など6点) 講義後のレポート(★)30% (★)の提出物は実習評価表の評価項目の内容で評価する 講義態度10%				